

システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価に関するセミナー

主催 日本地震工学会（システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価研究委員会）

物流、情報通信、エネルギーなどは、様々な構造物が点や線となり、これらが有機的に連結することで機能し、そして経済活動を支えています。原子力施設や高圧ガス施設、各種製造業についても、建屋や製造設備、機器類やライフラインなどが連なったシステムとして機能しています。一方で、システム総体としての安全性について議論されたことは殆どなく、このため、システム上の弱点や優先的に対処すべき対策を把握できない、という盲点があります。東日本大震災は、この盲点を知らしめるに余りある災害であったといえます。

そこで、産業施設の諸機能を、各種の構造物が連なったシステムとして捉え、システム機能の維持、早期復旧という観点から、耐震目標を満たすように構成要素の耐震評価を行う、新たな設計法、評価法に結び付く提言を行うことを目的として、「システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価研究委員会」（2011年2月～2013年3月）は設置されました。

本セミナーは、委員会報告として、東日本大震災における被害調査報告とシステム機能の維持、早期復旧を目標に置いた、種々の解析事例を紹介します。解析事例では、対象施設のシステム機能に着目し、その機能の復旧曲線を推計すると共に、システム上の弱点や優先的に対処すべき対策について考察します。これはまた、近年注目されているBCPへの取組みにおいて、一助となりうると考えます。

1. 日 時：2013年10月23日（水）13時～17時

2. 場 所：建築会館308会議室（東京都港区芝5-26-20）

3. セミナープログラム

13：00～13：10 委員長挨拶 高田 一（横浜国立大学）

13：10～14：30 被害調査報告

工場施設 大谷章仁（IHI）

石油石化プラント 大嶋昌巳（千代田加工建設）

電力施設 植竹富一（東京電力）

免震・制振施設 古屋 治（東京都市大学）

14：30～14：40 休憩

14：40～15：40 システム機能の維持・早期復旧を目標に置いた解析事例その1

道路施設 吉川弘道（東京都市大学）

鉄道施設 服部尚道（東急建設）

農業用水施設 静間俊郎（篠塚研究所）

15：40～16：40 システム機能の維持・早期復旧を目標に置いた解析事例その2

浄水場施設 馬場啓輔（日本上下水道設計）

水力発電施設 中村孝明（篠塚研究所）

工場施設 境茂 樹（安藤・間）

16：40～17：00 質疑、討議 新谷真功（福井大学）

17：00 閉会挨拶 新谷真功（福井大学）

4. 参加費

会 員：3,000 円、学生会員・学生：1,000 円、非会員：5,000 円

5. 定 員：50名（先着順）

6. 申し込み方法

- (1) 申込用紙は日本地震工学会ホームページ
メールまたはFAXでお申込みください
受付の確認次第、折り返し（FAXまたはメール）受講票を送ります。
- (2) 申込用紙（**複数名記入可能**）に必要事項を記載し、受講料の支払い方法（銀行振込・当日持参）、送金予定日（当日持参以外の方）を明記してお申込みください。なお、公費支払い等で請求書の発行希望の方は通信欄にその旨記入してください。

【申込み問合せ先】：日本地震工学会事務局

〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 建築会館内

電話 03-5730-2831、Fax 03-5730-2830

電子メール office@general.jaee.gr.jp

| 日本地震工学会 セミナー 参加申込書 | | | |
|--------------------|---|-------|----------|
| 行事名 | システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価に関するセミナー(平成25年10月23日(水)開催 13:00~17:00) | | |
| 氏名 | (複数名記入可能) | | |
| 会員区分 (参加費) | <input type="checkbox"/> 日本地震工学会会員 (正会員・学生会員・法人会員) 3,000 円 <input type="checkbox"/> 非会員 (上記所属以外の方) 5,000 円 <input type="checkbox"/> 学生会員・一般学生 1,000 円 ※参加費には資料集が含まれます。 | | |
| 支払方法 | <input type="checkbox"/> 当日支払い <input type="checkbox"/> 銀行送金 | | |
| | ●銀行口座：三菱東京UFJ銀行 田町支店 (普通) 0103167 ●口座名義：公益社団法人日本地震工学会 (コウエイシヤクダンホウジニホシジシヨウカクカイ) ※銀行送金の場合、通信欄に詳細お願いします。 ※振込み手数料は御社にてご負担ください。 ※参加費の払い戻しはいたしません。(欠席の場合資料集を送付する) | | |
| 勤務先 | <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%;"></td> <td style="width:50%;">所属部署</td> </tr> </table> | | 所属部署 |
| | 所属部署 | | |
| 連絡先 | 〒 | | |
| | <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%;">Tel :</td> <td style="width:50%;">E-mail :</td> </tr> </table> | Tel : | E-mail : |
| Tel : | E-mail : | | |
| 通信欄 | ●銀行送金の場合 <input type="checkbox"/> 銀行名： _____ 銀行から _____ 月 _____ 日 送金 <input type="checkbox"/> 送金者名： _____ <input type="checkbox"/> 振込金額： _____ 円 | | |
| | | | |

ファクス送信の場合：

日本地震工学会事務局宛：→ FAX 03-5730-2831